

令和5年度 稲城市立向陽台小学校 授業改善推進プラン全体計画

各教科の指導の重点

- 学習指導要領を「学びの地図」とし、児童の興味関心を「学びの地図」を進む資源とし、主体的・共創的に「学びの地図」を歩むことをとおし、学ぶ喜びや分かる楽しさを感じ得る指導を行う。
- 各教科等における「見方・考え方」を働かせ、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、社会の中で生きて働くものとして習得したり、思考力・判断力・表現力を豊かなものとし、社会や世界にどのように関わるかの視座を形成したりする。
- 各学年で育むべき「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」を確実に培うため、適切な学習評価を行う。
- 学校図書館及び地域公共図書館を学習センターとして、学校図書館活性化推進員を活用し、主体的に学ぶ態度や言語能力の育成を図る。
- タブレット端末、ICT機器を活用し、個別最適化された学びの実現に努める。
- 学力調査等の考察から全教職員が課題認識を共有し、授業改善プランを作成・実施し、授業改善に努める。
- 体力・運動能力等の考察から全教職員が課題認識を共有し、体力・運動能力等の向上の具体的な方策を実施する。
- 次の視点からカリキュラムマネジメントを実施し、効果的な年間指導計画を立案する。
 - ㊦教科等横断的な視点
 - ㊧PDCAサイクルの確立
 - ㊨人的・物的資源の効果的活用

外国語活動・外国語の重点

- 外国語活動 コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの豊かな言語活動を実現する学習を重視する。
- 外国語科 コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの豊かな言語活動を実現する学習を重視する。

学校の教育目標

○よく考える子ども

（学びの目的に向かい、主体的に自己調整を図りながら、他者と共創的に学ぶ子供）

- 思いやりのある子ども
（自尊感情をもち、人の喜びを自分の喜びとし、人の悲しみを自分の悲しみとすることのできる子供）
- たくましく生きる子ども
（進んで心身の健康の保持増進に努め、困難を乗り越えるレジリエントな子供）

本校の学力向上における課題

- 教師が、児童の学習に対する自己効力感をさらに培う授業を行う必要がある。
➡ “やればできる自分”に出会わせたい。
- 教師が、児童の自他のより良い学びのために、積極的に発言したり、傾聴したりする態度を育てる授業を行う必要がある。➡ “友達役に立てた自分”に出会わせたい。

本校の学力向上の目標

学びの目的に向かい、自己調整を図りながら、主体的・共創的に学ぶ子供の育成

取組目標（成果指標）

- 学習に対する自己効力感を高める。（“やればできる自分”に出会う）
 - すべての教員が、児童に目標設定、計画立案、実施、振り返りのサイクルを意識させ、期末テストにおいて、自分の目標が達成できたと回答する児童を80%以上にする。【市様式】
 - 児童調査「努力すれば、もっと学習ができるようになると思う。」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 自他のより良い学びのために、積極的に発言したり、傾聴したりする態度を育む。（“友達役に立てた自分”に出会う）
 - すべての教員が、ハンドサインを活用し、「考え中」の児童を大切に、毎時間、すべての児童が、1回以上挙手する展開を行う。【市様式】
 - 各教員が、「“友達やクラスの役に立てた自分”に出会おう！」で掲げた5項目について、年6回以上指導する。【市様式】
 - 児童調査「1時間に1回以上、挙手した。」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 主体的に学ぶ教師・学習する組織を実現する。
 - 切磋琢磨し合い、学び続ける教員風土を確立するため、すべての教員が、毎学期2回以上他の教員の授業を参観する。【市様式】
 - すべての教員が、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実に資する授業研究を年3回実施する。

特別の教科 道徳

- 「特別の教科 道徳」を要として、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動等、教育活動全体を通じて、道徳教育を実践する。
- 「特別の教科 道徳」のねらいを十分理解し、児童が、自らにひきつけ考え、意見を交流し合い、児童の内面に根ざした道徳性及び道徳的実践力の育成に努める。
- ソーシャルスキルトレーニングを系統的に実施し、道徳的な実践態度の育成を図る。
- 教材、資料を開発し、児童の心に深く投影される道徳学習の工夫・改善に努める。
- 道徳授業地区公開講座を開催し、道徳教育の在り方について意見交換し、保護者・地域との連携を深め、児童の道徳性の伸長を図る。

総合的な学習の時間

- 育てたい資質・能力
 - ㊦学びのための学習方略（課題設定力・情報収集力・思考分析力・表現力）
 - ㊧自分らしく生きる力（意思決定力・計画実行力・自己理解力・将来設計力・課題発見能力など）
 - ㊨他者や社会とかかわる力（他者理解力・協働力・共生力・社会参画力課題解決能力）
- 探究プロセスを踏まえた学習展開を実現する。
- 「総合的な学習の時間全体計画」に基づき、以下の視点から児童自らが課題を見出し、探究的に学ぶプロセスを重視する。
 - ㊦横断的・総合的な課題
 - ㊧生徒の興味・関心に基づく課題、学校・地域の特色に応じた課題
 - ㊨職業や自己の将来にかかわる課題
 - ㊩SDGs、オリパラ教育など今日的な課題
 - ㊪自己調整的な学習にかかわる課題

取組指標（成果指標）を実現するための手立て

<p>1 校内研究で得た成果を実践し、”全員参加の学習“を実現する</p>	<p>2 ベーシックドリル・タブレット端末を活用した基礎基本の定着・主体的な学び</p>	<p>3 質の高い学習の実現 学習能力をストレッチする</p>	<p>4 読書活動の充実 日常的な読書 集中的な読書 楽しい読書</p>	<p>5 「学び方講座」～自分らしい勉強の仕方をみつけよう～（総合）</p>
<p><具体的な手立てを考える視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を自分事に ・ハンドサイン ・「考え中」の重視 ・みんなで答えを見つけていく ・相互指名 ・全員挙手の発問 ・めあて・展開の共有 ・ふりかえりの活用 ・予習 ・グループ学習の仕方の習得 ・「友達やクラスの役に立てた自分に出会おう」の徹底 <p>細案検討 研究推進委員会</p>	<p><具体的な手立てを考える視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題の改善 ・朝学習の改善（タブレットドリルの活用） 2月3日(金)15:30 教材会社説明 ・ベーシックドリル（診断シート）の活用 <ねらい> <ul style="list-style-type: none"> ・算数基本事項の習得 ・児童の自己効力感 ・新学年のよいスタート <方法> <ul style="list-style-type: none"> シートA 3月上旬に実施 シートB 3月中旬に実施 シートC 4月上旬に実施 <p>細案検討 学力向上委員会</p>	<p><具体的な手立てを考える視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定時間の集中（低1分間・中3分間・高5分間） ・一定量の課題 ・タイムトライアル ・応用的な課題 ・期末テストの取組の充実 ➡丁寧に「目標設定・計画立案・実施・振り返り」のサイクルを辿る ➡教材会社教材の活用 <p>細案検討 学力向上委員会</p>	<p><具体的な手立てを考える視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の底上げ＝「夢中体験」が大切 読書＝夢中体験、没入体験 ・朝の読書時間の改善 ・集中（10分間喋らない） ・「今の私の1冊」 ・読む時間と読後感想を書く時間、 ・読書貯金 ・校内感想文コンテスト 読書量コンテスト ・読書旬間 ・KIDSのビブリオバトル! http://fd-two.com/tnk/kidsbib/index.html#s4 <p>細案検討 読書推進委員会</p>	<p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> (1)自己調整的に学ぶことの大切さや学習方略のよさを理解できるようにする。 (2)学習に対する自らの課題（「困り感」）や学習活動の目的に応じて、学んだ学習方略を選んだり、使ったりしようとする。 (3)学習に対する自己効力感や自己有用感を高め、主体的・共創的に学習にかかわろうとする。 <p><対象> 4年生・5年生・6年生</p> <p><時間> 概ね20時間/年</p> <p><カリキュラム> 別紙参照 指導資料参照（フォルダに保存済み）</p> <p>細案提案 校長</p>